

2012年5月15日

2012年度の鉄軌道事業設備投資計画

## 耐震補強工事などの安全対策をはじめ総額483億円

高架橋など施設の減災対策をさらに加速させ、災害・事故に強い東急線を目指します

東京急行電鉄株式会社

安全対策として、駅・高架橋・トンネルなどの耐震補強工事のスピードを早めます。  
東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転開始に向けた工事がいよいよ大詰めを迎えます。  
残る1駅のバリアフリールート確保に向けた改良工事を行います。  
環境配慮型の新型車両を30両導入します。

当社は、2012年度に鉄軌道事業で総額483億円の設備投資を行います。鉄道事業者の最重要の責務である安全対策に一層注力するとともに、東横線と副都心線との相互直通運転へ向けた工事やサービス向上などに引き続き積極的に取り組んでいきます。

安全対策とサービス向上の取り組みには、342億円を投資します。2012年度は、駅・高架橋・トンネルなどの耐震補強工事、下神明駅・緑が丘駅の改良工事など、より安全で安心・快適な東急線を目指していきます。また、東横線の30両を節電や環境に配慮した新型車両5000系に更新します。

鉄道ネットワーク拡充では、141億円を投資します。2012年度中に予定している東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転開始に向けて、東横線渋谷～代官山間地下化工事や特急・通勤特急・急行列車の10両編成化対応工事を柱とする「東横線渋谷～横浜間改良工事」を計画どおり進めていきます。

2012年度設備投資の詳細は別紙のとおりです。

以上

(別紙)

## 1. 安全対策とサービス向上の取り組みに342億円

「安全の確保」は鉄道事業者の最大かつ最重要の、お客さまに対する責務であり、積極的に安全対策投資を行います。また、どなたでも安心して快適にご利用いただける鉄道を目指し、バリアフリー化などの駅改良工事にも取り組んでいきます。

### 耐震補強計画をスピードアップ!

大規模な地震に備え、駅・高架橋・トンネルの耐震補強工事など、施設面の減災対策を進めていますが、この計画をスピードアップします。2012年度は戸越銀座駅・矢口渡駅や目黒・大井町・下神明付近高架橋、田園都市線渋谷駅付近のトンネルなどで実施します。

### 全駅バリアフリールート確保に向けて!

全てのお客さまに快適にご利用いただける鉄道を目指して、バリアフリー化工事を積極的に進めています。2011年3月に着工した下神明駅改良工事は、2013年度にバリアフリー化を完了し、2014年度の完成を目指しています。これにより東急線98駅全駅でバリアフリールートが確保されます。2011年度中にバリアフリー化した緑が丘駅では、竣工に向けて工事を進めます。

### 全車両の約50%が環境配慮型車両に!

当社では、車両への電力回生ブレーキ( )の導入率を2001年度から100%を継続するなど、節電や環境への配慮と混雑緩和・快適性向上の両立に取り組んでいます。

2012年度は、東横線の30両を新型車両5000系に更新します。5000系車両は、機器を多重化することにより、一部機器に故障が発生しても列車運行への影響を最小限に抑えた車両です。さらに、床面とホームとの段差を小さくするなどバリアフリー対策も施しており、従来の主力車両であった8000系に比べ使用電力を約40%削減するなど、「人と環境に優しい車両」です。2012年度の更新により東急線全車両の約半数が環境配慮型車両になる予定です。

### ( ) 回生ブレーキ

ブレーキ作動時に発生した電気エネルギーを、架線を通じて他の電車に送り、再び利用することができるブレーキ機能。大手民鉄・東京メトロ16社の平均導入率は78.8%(2010年度)



東横線と東京メトロ副都心線の乗り入れ車両として更新する5050系車両

さらに使いやすい駅へ！

戸越公園駅では、ホーム延伸工事を進めています。2013年3月(予定)の工事完了をもって、現在2両分のドアが開かない構造の同駅で、5両すべてのドアが開くようになります。高津駅では駐輪場の新設を進めます。

## 2. 鉄道ネットワーク拡充に141億円

鉄道ネットワークの拡充による利便性向上のため、大規模改良工事を推進しています。

### 【東横線と副都心線の相互直通運転へ工事を推進】

東横線と副都心線との2012年度中の相互直通運転開始に向けて、「東横線渋谷～横浜間改良工事」を進めています。相互直通運転により、横浜～渋谷～新宿～池袋が1本でつながり、鉄道ネットワークがさらに拡充します。また、相互直通運転開始に合わせて、特急・通勤特急・急行列車を10両編成（現行は8両編成）で運転します。

この工事は2005年3月から「特定都市鉄道整備積立金制度」を活用して進めています。

### 渋谷駅～代官山駅間地下化工事

2002年5月に工事着手した渋谷駅は、2008年6月の東京メトロ副都心線開業により一部の使用を開始しました。現在は2012年度中の相互直通運転開始に向け、渋谷駅ではレール敷設工事を、渋谷駅からJR線交差部付近までのシールドトンネル区間では電気工事を、JR線交差部付近から代官山駅にかけてはレール敷設工事と電気工事および一部の躯体の構築工事を行っています。



工事が進む地下のトンネル区間

### 10両編成化・速達性向上工事

10両編成に対応するため、特急・通勤特急・急行停車駅ホームの延伸工事を進めています。

### 中目黒駅改良工事 ……

ホームとホームの屋根を延伸します。

上りホームの混雑を緩和するため、上り線渋谷側のホームを拡幅しました。

上り・下り各ホームにエスカレーターを新設します。

横浜側に改札口を新設します。

高架橋の耐震補強工事を実施します。

- 学芸大学駅ホーム延伸工事・・ ホームを延伸するとともに、耐震補強工事を行います。
- 自由が丘駅ホーム延伸工事・・ ホームとホームの屋根の延伸工事を行います。
- 田園調布駅ホーム延伸工事・・ ホームの延伸工事を行います。
- 多摩川駅ホーム延伸工事・・・・・ ホームの延伸工事を行います。
- 武蔵小杉駅ホーム延伸工事・・ ホームとホームの屋根の延伸工事を行います。
- 日吉駅ホーム延伸工事 ・・・・ ホームの延伸工事を行います。
- 綱島駅ホーム延伸工事 ・・・・ ホームとホームの屋根の延伸工事を行います。
- 菊名駅ホーム延伸工事 ・・・・ ホームの延伸工事を行います。

横浜駅は、2010年度中にホーム延伸工事を終了しています。

以 上